

令和5年度 大船渡市市民活動支援事業 活動報告

団体名	鮎いの会
事業名	郷土刊行誌「鮎いⅡ」年 2 回発行及び郷土愛醸成関連事業

<事業概要>

刊行誌「鮎いⅡ」の発行やその関連事業の実施を通じて、気概を持って未来を切り開く若者の育成をサポートすることが、長い時間がかかるが、きっと将来的に、この若者たちが町の賑わいを創り出すだろうことを期待して事業内容を掲げ、2023年 3 月に組織の設立総会を開きました。

その具体的な活動の柱のひとつとして、刊行誌「鮎いⅡ」の創刊号(2023年 5 月)、2 号(同年 11 月)を各 2,000 部発行し、大船渡市内の小中学校や企業・団体、全国の大船渡市出身者などへ配付しました。

<実施効果>

刊行誌「鮎いⅡ」の創刊号、2 号と2023年度に 2 回発行し、それぞれ2000部のほとんどを配付することが出来ました。また、この 2 回の発行に際して、多方面の方々(市内在住者、市内出身の地方在住者、そして気仙地方に思いを寄せてくれている人たちなど)から、中身の濃い思いを共有できる投稿を多くいただきました。

そのひとつとして、第 2 号に掲載した大船渡市立第一中学校の佐々木校長先生から寄稿いただいた「鮎は生まれた川に戻ってくる？」は、大船渡市で生まれ育った子どもたちを「鮎」に例えたコラムと、震災以降の教育現場における変革などが綴られており、その内容に勇気づけられました。

このことをはじめとする、みなさま方との思いが 鮎いの会 の理念に基づき始めた活動が互の共有するところとなり、一歩ずつ進んでいる効果の表れだと考えております。

<今後の展開>

2024年 5 月発行予定の刊行誌「鮎いⅡ」第 3 号からが本格的な活動の第一歩となります。

ふるさとの明日を担う若者たち(人生初の岐路に立つ中学・高校 3 年生を中心)に、輝けるこれからの未来へ、人生の先輩卒業生からの応援メッセージが寄せられます。

この企画は、第 3 号から 3 回連続で 2 サイクル掲載予定をはじめに、その後の展開の布石と考えております。

時間はかかると思いますが、一歩ずつ推し進めていくことが大切であり、地域の活性化に 鮎いの会がサポートできる事と思います。

<市民のみなさんへ一言>

刊行誌「鮎いⅡ」の発行が市内在住者、市内出身地方在住者、そして気仙地方に思いを寄せてくれている人たちとの思いを共有し共感できる手段であります。

是非ともみなさま方からの思いのメッセージとして投稿をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

2022 年 9 月 11 日 舩いの会 第 1 回役員会議

タワーホール船堀 会議室



2022 年 10 月 1 日 舩いの会 両事務局初顔

合わせ夢商店街 会議室 (大船渡)

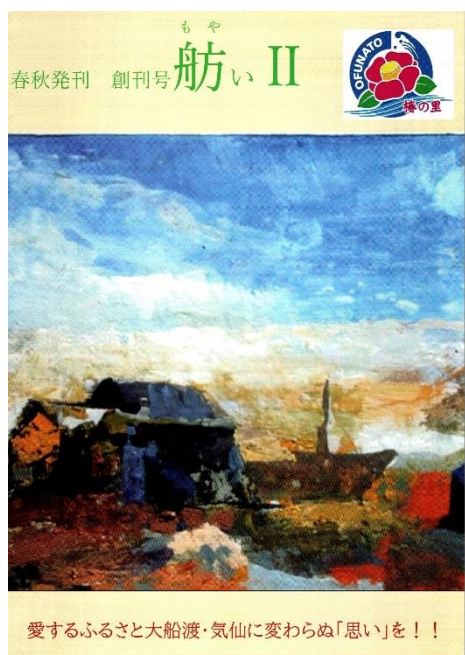


2023 年 3 月 12 日 舩いの会設立総会が東京銀座会場と大船渡会場をズームで結び総勢 90 名で開催。

総会終了後、まずは濱守栄子さんのミニライブが行われ、祝賀会が楽しく賑やかに行われた。



完成した舩いⅡ創刊号表紙（5月7日）と舩いⅡ第2号表紙（11月12日）と共通の裏表紙



2023年4月23日舩いⅡ創刊号の編集会議 場所 江戸川区東葛西コミュニティ会館集会場2



2023年10月15日舩いⅡ第2号の編集会議 場所 江戸川区東葛西コミュニティ会館集会場2



2023年11月12日 舩いⅡ第2号の発送作業 場所 江戸川区東葛西 里神代表宅の車庫



【舩いⅡ】はインターネットでも
ご覧いただけます！

↓↓↓ こちら ↓↓↓

<https://moyai-ofunato.jimdo.com/>

